令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	危機管理室	事業No.	256
会計	一般会計		
事業区分	経常	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	常備消防事業

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		第11次消防力（消防団）整備計画
	法令・例規等			飯田市消防委員会条例

事業目的		
	対象	市民、行路旅人を含めた市内滞在者
	意図	安全安心に寄与する

2 事業内容

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・常備消防体制維持の一環として県消防防災航空隊の運営経費の一部（消防吏員人件費）を負担しました。 ・消防委員会において飯田市第12次消防力（消防団）整備計画(案)について、審議を行いました。	県消防防災航空隊派遣消防吏員人件費	2,719
	消防委員報酬	44
	その他の経費	8

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
消防委員会の開催	回	2	1	2	1	2	1	2	1

2年度決算(千円)

			特定財源内訳及び補足事項
予算額		2,985	
決算額		2,771	
財源の状況	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,771	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	1	10	1	2,985	2,771	常備消防一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	防災ヘリコプターは、令和２年12月に新機体が導入され、令和３年４月から一部条件付きで運航が再開されます。 県内から派遣されている８名の隊員は、県内場外地調査など様々な分野においての調査や訓練に取り組み、新機体が導入後は飛行訓練などの実践的な訓練を重ねました。今後、救急搬送、火災時における散水、救助出動等の活動に期待が寄せられています。
上記の課題解決のための有効策	救命救助及び山林火災での空中散水を行った消火活動などは必要不可欠であり、有事の際は応援協定に基づき要請しています。
次年度に向けての取り組み	引き続き、長野県消防防災航空隊運営経費の一部（県下各消防本部から派遣された職員の人件費）を負担していきます。